「(仮称)野鳥公園基本計画(整備プラン)」への意見要旨と対応について

〔意見への対応の凡例〕
原案どおり:原案を変えないもの
記載あり:意見の趣旨が既に記述してあるもの
修正:意見の趣旨を踏まえ原案を修正するもの

意見番号	意見要旨	対応方針	対　応
Ⅰ. はじめに　～野鳥公園の位置づけと，これまでの経緯			2件
1	港湾のイメージが強い博多港において、身近に生き物が感じられ，自然に親しむ空間が整備されることにより、市民が親しみやすい博多港のイメージを構築してほしい。	記載あり	『Ⅰ. 1. 野鳥公園とは』に記載しておりますように，野鳥公園はエコパークゾーンの和白干潟等と機能分担しながら，人と自然の共生を象徴する空間として整備を図ることとしております。
2	国内外からも環境に配慮した公園づくりとして参考モデルになるような整備してほしい。		
Ⅱ. エコパークゾーンにおけるこれまでの取組みと今後の課題			4件
3	「エコパークゾーン」は、人と自然との共生を象徴する空間として整備を行っていくとある。しかし、和白干潟付近には都市計画道路が計画され、塩浜地区は計画的開発ゾーンに位置づけられている。開発の方針なのか，自然環境保全の方針なのか。上位計画の都市マスタープランでも位置づけが混在している。 野鳥公園の整備を進めていく中で、「エコパークゾーン」周辺の広域的な整備方針については、もう少し議論を重ねて整合をとっていくべき。	原案どおり	『Ⅱ. 1. エコパークゾーンとは』に記載しておりますように，エコパークゾーンの位置づけにつきましては「豊かな生態系を構成する生物を育む場として，自然環境の質的向上を図るとともに，地域の特性を活かした潤いのある生活環境の形成や環境教育の場として利用を行うなど，自然生態を活かした整備を図る」を基本方針としております。 いただいたご意見は，エコパークゾーンの取り組み検討の行う中で参考にさせていただきます。
4	公園環境を守るため，和白海域～御島海域に横行するモーターボート(水上スキー)の取締りを強化できる法整備をお願いしたい。	原案どおり	『Ⅱ. 3. 水域利用のルールづくり』に記載しておりますように，平成22年にエコパークゾーンを利用する各団体や周辺住民，行政等で，動力船と非動力船の利用エリアを分ける等，自主ルールを定めています。 いただいたご意見は，エコパークゾーンの取り組みの検討を行う中で参考にさせていただきます。
5	本公園の整備に併せて和白干潟の観察施設や水道，駐車場の整備が必要。	原案どおり	『Ⅱ. 4. 今後の課題と取組み』に記載しておりますように，エコパークゾーンを環境学習の場として，より多くの人々が利用できるよう，和白干潟付近に駐車機能等の利便施設の確保について検討していくこととしております。 いただいたご意見は，エコパークゾーンの取り組みの検討を行う中で参考にさせていただきます。
6	「覆砂」「作澪」に，ふりがなをつけると読みやすい。	修正	わかりやすくするため，ふりがなを記載しました。
Ⅲ. 野鳥公園で保全すべき鳥類			2件
7	野鳥公園で保全すべき鳥類に提示されている表において，「シギ･チドリ類」だけ色がついているが意味が分からない。	原案どおり	アイランドシティ整備事業の進捗に伴い，休息場機能が不足する「シギ･チドリ類」の保全を強調するため着色しております。
8	クロツラヘラサギについて，「本来の生息環境」という言葉がありますが，その説明がない。人工島事業のモニタリングデータの実績を参照すると，野鳥公園こそ再生保全の対象域にすべきではないか。	原案どおり	クロツラヘラサギは，泥質の干潟を好み，アイランドシティ整備事業の工事の過程で一時的に生じた湿地を利用していた時期もありましたが，博多湾では主に多々良川河口の干潟域や今津干潟を採餌場，休憩場として利用しています。この状況も踏まえて，採餌場と休息場の機能を備えた本来の生息環境である多々良川河口の干潟域や今津干潟で保全することが最適であると考えております。

Ⅳ. 野鳥公園ラウンジカフェの成果			3件
9	基本コンセプトが「野鳥公園ラウンジカフェ(P8)」と「整備の基本方針(P9)」の2箇所にあり，わかりずらい。	原案どおり	『Ⅳ. 2. 基本コンセプト(P8)』はラウンジカフェの成果として提示されたため記載しております。 『Ⅴ. 2. 基本コンセプト(P9)』は整備の方向性が基本コンセプトを踏襲していることを明確にするため記載しております。
10	野鳥公園ラウンジカフェの成果に表示されている活動プランの表において，5つのグループの色分けが2色になっているが意味があるのか。	修正	『Ⅵ. 3. 活動プラン』に記載されている活動プランの一覧表において，各項目を「公園づくり」「観察学習」「地域交流」「国際交流」「企業連携」の5つのグループに整理し，さらにそれらを管理運営の視点から「維持管理」「企画運営」「実行支援」と3つに分類しておりました。 わかりやすくするため，凡例を追記しました。
11	野鳥公園ラウンジカフェの成果に表示されている活動プランの表において，実施時期の実践と点線の違いは何か	修正	『Ⅵ. 3. 活動プラン』に記載されている活動プランの一覧表において，各項目の主要な取組み時期を実線とし，その後継続的に取組む時期を波線で示しております。 わかりやすくするため，上記の記載内容を追記しました。
Ⅴ. 整備の基本方針			
1. 野鳥公園の目指す姿(将来像)			13件
12	ショッピング都市福岡には，とっておきのプロジェクトである。海浜都市福岡として，西の百道浜，東のアイランド浜を両翼とし，観光都市福岡をアピールしてほしい。	原案どおり	『Ⅴ. 1. 野鳥公園の目指す姿(目標像)』に記載しておりますように，本公園を含むエコパークゾーンは，150万の人口を抱える都心近くにありながら，豊かな自然環境が存在する貴重な空間であり，人と自然との共生を象徴する空間として整備を図ることとしております。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
13	一部の満足だけでなく，多くの人が足を延ばしてでも行きたい，行ってよかったと思えるような公園にしてほしい。		
14	環境を第一に考え，自然学習の場やピクニックなどができる市民の公園にしてほしい。		
15	学習や親しみは良いが，野鳥の生態系を壊すようであってはならない。		
16	野鳥公園は環境に配慮した街づくりのシンボルとして，もっと自然を優先すべき。自然の保全･復元を目指す方向と，一般的な公園利用を許容する方向とが，どっちつかずになっている。		
17	目指す姿としては万博記念公園にある日本庭園が理想。		
18	ラウンジカフェでは，総花的なものはやめて，野鳥がくる公園にしなければ，学習機能も自然とのふれあいも意味がないという共通した認識があった。本素案では，特に本体の整備計画には，総花的なところが多々あり，今までの議論が十分に反映されていない。	原案どおり	『Ⅴ. 1. (1)検討の流れ』に記載しておりますように，本公園の目指す姿は，エコパークゾーンのこれまでの取組みや野鳥公園ラウンジカフェでの成果を踏まえるとともに，専門家的見地からの意見や助言をいただきながらとりまとめております。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
19	本公園の目指す姿として，「環境の保全･創造」、「市民の交流･学習」、「様々な活動の連携」の3つの目標像が整理されているが，やや欲張りすぎである。性格がちがう「環境学習の場」と「ピクニックや遠足などの場」を共存させながら，多様な利用形態がコントロールできるか心配である。		
20	人間の利用が最優先されているように感じた。博多湾でも多くの渡り鳥が激減。アサリも獲れなくなった。海も川も汚れてしまった。そんなことの反省の上に，野鳥が喜ぶ新しい生息空間が生まれることを期待している。	記載あり	『Ⅴ. 1. (2)野鳥公園の目指す姿(目標像)』に記載しておりますように，本公園の目指す姿の一つとして「環境の保全･創造」を位置付けており，渡り鳥が利用する場の充実を図ることとしております。
21	子供達が自然や生物と触れ合う事のできる公園を希望します。	記載あり	『Ⅴ. 1. (2)野鳥公園の目指す姿(目標像)』に記載しておりますように，本公園の目指す姿の一つとして「身近に自然とふれあえる場」や「環境学習の拠点」を位置付けており，環境学習プログラム，イベント等の充実を図ることとしております。
22	環境学習の部分に，市内及び他地域からの小中学校の授業との連携，受け入れ態勢を明確にすることが求められる。		
23	子どもたちが自由に自然に触れ合い、遊べる場所が良いと思う。野鳥が中心ではなく、子どもを中心に考えてほしい。		

24	環境学習・情報発信の場を設ける理由がわからない。アイランドシティ中央公園にある同様の施設で対応できないのか。年月が経ち，施設が陳腐化して，公園の居心地悪くなってしまうことは避けてほしい。	原案どおり	『Ⅴ．1．(2)．④環境学習の拠点』に記載しておりますように，普段は自然にふれあう機会が少ない市民が気軽に学び，体験できる場の創出を目指しております。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
Ⅴ．整備の基本方針			
2．基本コンセプト			1件
25	現在のアイランドシティは立派な公園や海上遊歩道（あいたか橋）ができたことで、家族とともに月に2～3回はアイランドシティに行っており、今では好きな場所の一つになっている。本公園についても、コンセプトどおり、永く子どもたちに自然や海を身近に感じることができる憩いの場となってほしい。	記載あり	『Ⅴ．2．基本コンセプト』に記載しておりますように，本公園の整備は「成長する野鳥公園～人と自然が共に成長し続けるために」を基本コンセプトとしており，新たなコミュニティを育み，子どもや孫たち世代へと繋げてまいります。
Ⅴ．整備の基本方針			
3．整備の方向性			7件
26	基本コンセプトや整備の基本的な考え方に賛成である。人と自然が共に成長し続けるエコパークゾーンとの機能分担・連携の考えを基本に公園を整備，運営してほしい。	記載あり	『Ⅴ．3．(1)．①エコパークゾーンとの一体的な整備』に記載しておりますように，エコパークゾーン全域をいわば「大規模な野鳥公園」ととらえ，本公園とエコパークゾーンで機能分担や連携を図ることとしております。
27	浅場にはアサリが生息できるような干潟にしてほしい。	原案どおり	『Ⅴ．3．(1)．①エコパークゾーンとの一体的な整備』に記載しておりますように，本公園はエコパークゾーンの和白干潟等との機能分担や連携を図ることとしており，今回の整備において人工的な干潟の創出は検討しておりません。
28	和白干潟という貴重な自然干潟があるので，「人工干潟」は不要である。		
29	アイランドシティ自体の建設で海水の淀みがあると思う。 魚や鳥など生きものが増えやすい環境を作ってほしい。	記載あり	『Ⅴ．3．(1)．①エコパークゾーンとの一体的な整備』に記載しておりますように，将来にわたりエコパークゾーンの豊かな自然環境を保全創造していくため，生態系の保全に加え，海域における水質・底質の改善等，さらなる環境質の向上を図ることとしております。
30	人の手を加えた場所を作るより，最低限のものを作り，自然の遷移に任せた場所が市内にあるとよい。	記載あり	『Ⅴ．3．(1)．③自然の成長を促す段階的な整備』に記載しておりますように，公園として造りこむ場所と，多様な自然の形成を可能とするため，自然の成長にまかせて基盤づくりのみを行う場所とを区分してまいります。
31	野鳥について、腫れものに触れる対応が強いように感じる。人が野鳥に触れ合える場面を設けることが必要。	記載あり	『Ⅴ．3．(2)．①身近に生きものを感じられる空間の創出』に記載しておりますように，身近に生きものが感じることができる空間の創出を図ることとしております。
32	アイランドシティ中央公園は「癒しの面」がやや弱い公園だと感じているため，本公園にはくつろげる場を設けてほしい。	記載あり	『Ⅴ．3．(2)．②自然に親しむ空間の創出』に記載しておりますように，やすらぎや癒しが得られるように，エコパークゾーンの豊かな自然を眺め，海と緑の豊かさを感じられる空間の創出を図ることとしております。

Ⅴ．整備の基本方針			
4．ゾーニング			5件
33	広大な和白干潟を目の前にする場所にしては全体が箱庭的に作られている印象がある。あまりゾーンを細かく分けずにおおらかな景観を作るほうが，自然の復元をしやすいし，インパクトもある。	原案どおり	『Ⅴ．4．ゾーニング』に記載しておりますように，本公園の空間を，①自然の成長を学ぶ　②海の自然を学ぶ　③海辺に親しむ　④自然を楽しむ　の4つのゾーンに区分し，それぞれの特性に応じた整備を行ってまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
34	静かに自然や鳥の気配を感じとれるようにしてほしい。子供が遊ぶ広場とは距離をとり，それぞれの特色が混じり合わないようにしてほしい。		
35	「野鳥だけのための公園」，「野鳥好きのためだけの公園」にはなってほしくない。いろんな人がたくさん来てくれる場所になってほしい。湿地は野鳥優先，広場は人優先など計画の中で工夫をしているようなので，そこをうまくやっていけばきっとみんなが楽しめる公園になると思う。	原案どおり	『Ⅴ．4．ゾーニング』に記載しておりますように，本公園の空間を，①自然の成長を学ぶ　②海の自然を学ぶ　③海辺に親しむ　④自然を楽しむ　の4つのゾーンに区分し，それぞれの特性に応じた整備を行ってまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
36	自然を楽しむゾーンは極力小さくして，野鳥等の生息域を大きくしてほしい。多様な生き物の生息を観察・学習する公園であってほしい。		
37	大きな広場は不要ではないか。にぎやかすぎると野鳥は飛来するのか。		

Ⅴ．整備の基本方針			
5．各ゾーニングの機能と施設要素			12件
38	自然の成長や海の自然を学ぶゾーンについては，子供たちが見たり触れたりして学ぶ意欲を掻き立てるような場がほしい。生き物の習性を生かした作り(棲家)にすると子供はとても楽しんでみてくれると思う。	原案どおり	『Ⅴ．5．自然の成長および海の自然を学ぶゾーン』に記載しておりますように，同ゾーンでは，新たに創出した自然環境の成長過程や生態系を体験し学習するとともに，生きものの観察会や子供を中心とした自然観察のクラブ活動等を検討してまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
39	海の自然を学ぶゾーンは、子供が海に入って遊べるような楽しい施設にしてほしい。そのためには、親が安心して遊ばせることができるよう，浅瀬をより広くしたり，足洗い場を設けるなどの配慮をしてほしい。		
40	小さな子どもが貝やカニなどふれることができる場所があると喜ぶと思う。		
41	和白干潟の観察会に参加して感じたが，手や足の洗い場があるといい。		
42	海の自然を学ぶゾーンは，生きものと触れ合うことで自然の大切さが学べるような場所にしてもらいたい。		
43	魚をつかまえたい，釣りたい。		
44	浅場で干潟生物の観察ができるよう幅10m程度の階段や傾斜護岸を提案。あるいは海に突き出した桟橋状の観察施設でも来園者が楽しめる。直接，海の生物と安全に触れ合える工夫がほしい。		
45	自然を楽しむゾーンはデイキャンプができるような場所になればとても魅力的だ。	原案どおり	『Ⅴ．5．自然を楽しむゾーン』に記載しておりますように，同ゾーンでは，人々が集い自然とふれあうことができる広場や周辺を一望できる築山の創出を図ってまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
46	樹木で日陰をつくり，夏は家族でキャンプをできるようにしてほしい。		
47	自然を楽しむゾーンについては，遊歩道をレンガのような舗装にして一日散策しても飽きないような公園になってほしい。		

48	自然を楽しむゾーンは，子どもの興味が沸くような浅い小川や橋，ジャングルジムなどを設置すれば，身体を動かしながら遊べ，野鳥とも触れ合える場所となると思う。そして，その遊ぶ姿を見守りながら大人がくつろげるカフェや四阿があるとよい。	原案どおり	『Ⅴ．5．自然を楽しむゾーン』に記載しておりますように，同ゾーンでは，人々が集い自然とふれあうことができる広場や周辺を一望できる築山の創出を図ってまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
49	海を眺められる一面芝生の築山を，大人の憩いの空間として利用したい。あえて子供たちが遊びにくいように傾斜を付けた築山にしてほしい。		
Ⅴ．整備の基本方針			
6．平面図（整備イメージ）			2件
50	築山と湿地の位置を東西に入れ替え，照葉のシンボルである白山・立花山の秀麗がよくながめられるようにするとともに，博多港に落ちる夕陽を水面に映し出し落陽と野鳥との自然ドラマが眺められる場所に築山を移動してほしい。	記載あり	『Ⅴ．6．平面図』に記載しておりますように，グリーンベルトとの連続性を考慮した結果，本公園の西側に築山や広場を配置しております。
51	湿地は中央公園の池よりもかなり広そうなので，スケール感がつかめない。同縮尺での比較を入れるととわかりやすい。	修正	『Ⅴ．6．平面図』にスケール感がわかるよう，同縮尺での比較を追加しました。
Ⅵ．基本整備計画			
1．造成計画			6件
52	築山について，海辺に独立して小山が存在することは自然にはありえない。たとえば築山を造らず森にして，連続した起伏のある砂丘のような形状にするなどの工夫が必要だと思います。	原案どおり	『Ⅵ．1．(1)自然な起伏』に記載しておりますように，造成につきましては，人と自然の共生を象徴する空間となるよう地形の変化にリズムをもたせてまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
53	住宅より高いところに湿地があるという景観は不自然である。	記載あり	『Ⅵ．1．(2)湿地造成』に記載しておりますように，湿地につきましては，野鳥が安心して休息できる空間とするため，公園利用者や周辺住宅の住民から見下されないよう，湿地の地盤を周辺より高くしております。
54	築山を知育の壮大なランドスケープが体感できる場ととらえ，西に山を望み北・西・南に海を臨み，東から西に動く太陽を感じるという，アイランドシティ周辺の自然の壮大なドラマを，「大空を舞う鳥の目」で感じられる場所として創出してほしい。	記載あり	『Ⅵ．1．(3)築山造成』に記載しておりますように，エコパークゾーンの雄大な眺望を楽しめる空間となるよう，築山を造成します。
55	アイランドシティは、平坦で全体を見られ場所がないので、海やまちを見れる築山があるのが良い。		
56	本公園の目指す姿を実現するためには、できるだけ多くの市民に来園してもらう必要がある。そのためにも，見晴らしの良い場所として築山をつくり、景観的魅力を向上させてほしい。		

57	築山へは車いすやベビーカーでも無理なくアクセスできるよう，路面や勾配については配慮してほしい。	原案どおり	施設につきましては，バリアフリーの考えを積極的に進めてまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
Ⅵ. 基本整備計画			
2.湿地整備の考え方			10件
58	湿地については，大濠公園の規模の水面がなければ野鳥達は安心できないと思う。一方，海の中道海浜公園内に小さな池だが多くの野鳥が集まり，観察できる場所があるので参考にすべき。	原案どおり	湿地につきましては，主としてシギ･チドリ類の休息場機能を確保する観点から検討を行っており，今後，よりよい空間づくりを図ることとしております。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
59	広場とグリーンベルトを一体化させるために，一般車道の上の橋脚上に幅の広い(20mほど)遊歩道緑地帯を作ることを提案。グリーンベルトを含めた広場とすることで，公園内の広場面積を減らし，生物空間増やすことができると思う。	原案どおり	湿地につきましては，主としてシギ･チドリ類の休息場機能を確保する観点から検討を行っており，今後，よりよい空間づくりを図ることとしております。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
60	湿地について浄化機能がないと汚れていくと思うが、浄化機能や循環は計画されているのか。湿地面積の設定根拠、また淡水かつ入れ替わりなしの湿地にした理由を教えてほしい。		
61	湿地域と海辺をつなぐ生物的空間を作ることを提案。潮が高い時に海水が入り込むような幅20m程度の水路を作ることで，海と湿地との連続性が作られ，多様な生物空間が生まれる。水路には観察用の橋をかけて来園者が，水辺の生物なども観察できるようにする。	記載あり	『Ⅵ. 2.（1）湿地の概要』に記載しておりますように，湿地は雨水を供給源としております。
62	湿地に流れこむ水は公園敷地内からに限られるため，水がたまらないのではないか。また，中水の導入が必要と思うが、どこからもってくるのか。	原案どおり	『Ⅵ. 2.（1）湿地の概要』に記載しておりますように，湿地につきましては，水量のコントロールを目的とした中水等の導入を検討してまいります。 また，円滑な自然の成長を図っていくために，順応的管理手法を用いながら段階的な整備を行ってまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
63	湿地は，ボーフラが湧いたり，鳥の排泄物が溜まらないよう整備してほしい。		
64	湿地整備ついて，水循環はどのように考えているのか。雨水が滞ったままだと，ヘドロや悪臭が発生するのではないか。中水以外に何の導入を検討しているのか。		
65	湿地の水深が，「深さ0cm～50cm]とあるが，50cmでどんなシギ･チドリの種類を想定しているのか理解できない。水深が20cm以上を超えると大型のシギ類でも利用できないことは明確。カモ類やサギ類の利用も考えているのかもしれないが，面積わずか1haしかないことを考えると，多様な水深環境を考えるのではなく，目標通り，小型のシギ･チドリ類の生息空間を最優先させるべきだ。	記載あり	『Ⅵ. 2.（2）湿地の周辺環境の断面図』に記載しておりますように，底面に緩やかな起伏を設けることで水深に変化をつけ，水の自然蒸散によりシギ･チドリ類が好む水際エリアが数多く創出するよう検討してまいります。
66	湿地をひとの立ち入りを制限するこてで，鳥がリラックス出来ると思う。	記載あり	『Ⅵ. 1. 造成計画およびⅥ. 2. 湿地整備の考え方』に記載しておりますように，湿地の地盤を周囲から見下ろされないように高くするとともに，湿地周辺への立入りの制限，植栽を行わないことなどによる見通し確保など，野鳥が安心して湿地を利用できるような整備を行うこととしております。 なお，公園内の湿地については，水生昆虫など，シギ･チドリ類の餌となる生物が生息し，採餌場機能も併せもつことになると考えております。
67	シギ･チドリ類の採餌場機能について，和白干潟等において「十分な餌量を確保できると考えられる」との記載があるが，現状は，春の渡り機に潮干狩り等の人的影響が大きいため，野鳥が充分に採餌活動できない要素が大きい。本公園内においても，野鳥が安心して採餌できる環境作りが求められる。		

Ⅵ. 基本整備計画			
3.海域環境の改善			7件
68	アマモ場は，海の生き物の観察の場所として面白そうなので，是非、実現してほしい。	原案どおり	『Ⅵ. 3.（1）浅場』に記載しておりますように，本公園の前面海域に豊かな生物の生息環境を創造し，アマモ場を造成することとしております。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
69	アマモ場を身近にみられる工夫があるといいと思う。		
70	アマモ場を水の中から見ることができると楽しいと思う。		
71	和白干潟ゾーンの海底質が有機汚濁化とあるが，その原因の説明がほしい。	原案どおり	和白海域の底質の有機汚濁化については，閉鎖性海域である博多湾の最奥部に和白海域が位置しており，陸域からの汚濁物質の流入による影響を長年に渡って受けてきたことが主な原因であると考えております。
72	航路浚渫土砂の有効利用は理解できるが，使用する浚渫土砂がすでに貧酸素の影響を受けていれば，かえって悪影響を与えてしまうことになる。活用される浚渫土砂の検査（溶存酸素量や生物量など）がとても重要となる。	記載あり	『Ⅵ. 3.（2）和白海域の環境改善および Ⅵ. 3.（3）効果の検証』に記載しておりますように，覆砂材については良質な浚渫土を用いるとともに，海域環境改善の実施にあたっては，工法や浚渫土砂の材質，環境改善の効果を十分に検証しながら進めてまいります。
73	浅場を作ることによって和白海域に対しどのような影響があるか危惧している。整備の前にアセスメントを実施し公表の上，市民の意見を聞いてほしい。	原案どおり	海域環境改善の実施にあたっては，環境改善の効果とともに周辺への影響を確認しながら進めてまいります。
74	石組は，アマモ場同様，生物の生活環境創造もかねて設置する方がよい。	修正	『Ⅵ. 3.（1）浅場』に記載されております石組みは，野鳥の餌にもなる様々な海生生物の生息環境が創造されることになると考えております。 わかりやすくするため，上記の記載内容を追記しました。

Ⅵ. 基本整備計画			
4. 動線計画			24件
75	野鳥公園とアイランドシティ中央公園を結ぶ軸をグリーンベルトとして整備することは素晴らしい。アイランドシティ中央公園の修景池と野鳥公園の湿地ゾーンを連担し、人々がグリーンベルトを介して行きかう回遊性が生まれると思う。	記載あり	『Ⅵ. 4. 動線計画およびⅤ. 4. ゾーニング図』に記載しておりますように，本公園はグリーンベルトや外周緑地との連続性の確保を図ってまいります。
76	グリーンベルトとつながりのある計画にしてほしい。		
77	アイランドシティ中央公園と本公園とを結ぶグリーンベルトの整備については花と緑による快適な一体化を目ざしてほしい。		
78	アイランドシティ中央公園からグリーンベルトを通り本公園に連続してつながる工夫がほしい。		
79	整備されている外周緑地や既存の公園から孤立した整備にならないよう，連続性・回遊性が確保できるようにしてほしい。		
80	海岸沿いの一部をコースにした，ランニング＆ウォーキングコースを整備してほしい。	原案どおり	『Ⅵ. 4.（1）アイランドシティ事業計画との整合』に記載しておりますように，本公園はアイランドシティ全体の自転車・歩行者ネットワークをつなぐ動線計画としております。 いただいたご意見は，アイランドシティ全体の事業計画を検討する中で参考にさせていただきます。
81	歩行者，自転車以外にランニングコースも整備してほしい。距離表示があり，やわらかい舗装面で，車を気にせず走れるコースがあれば，人口の多い東区なら大濠公園より人が集まる可能性がある。		

82	1周5km程度のジョギングコースをつくってほしい。御島水域の周回コースと組み合わせると，さらに長い距離を走ることができる。アイランドシティに温浴施設も計画されていることから，走った後，入浴などして帰れるスペースになれば，アイランドシティ全体の付加価値向上につながるのではないか。	原案どおり	『Ⅵ．4．（1）アイランドシティ事業計画との整合』に記載しておりますように，本公園はアイランドシティ全体の自転車・歩行者ネットワークをつなぐ動線計画としております。 いただいたご意見は，アイランドシティ全体の事業計画を検討する中で参考にさせていただきます。
83	本公園は，アイランドシティ中央公園とは異なる特性となってほしい。中央公園は子供向けの機能を重視した公園であるため，本公園は，ウォーキンングやランニングコースなど健康が管理できる機能をもたせるなど，大人も楽しめ，活用できる空間となってほしい。		
84	1周をキリのいい距離にして、一定距離毎に表示があれば使いやすい。大濠公園のように，歩行者や自転車とゾーンが別れているとさらに良い。		
85	連続するグリーンベルトや外園緑地にジョギングコースも整備してほしい。		
86	自転車が活用できるような計画としてほしい。海の中道海浜公園のようなレンタサイクルの拠点があり、そこで借りた自転車でグリーンベルトを走れるようにすることで，小さい親子連れが楽しめる。		
87	イオンモールやこども病院，中央公園，グリーンベルト，総合体育館，本公園などの拠点となる施設に，電動自転車やセグウェイ等のおしゃれなレンタサイクルを設置すると，公園利用者の増加につながる。	原案どおり	『Ⅵ．4．（1）アイランドシティ事業計画との整合』に記載しておりますように，本公園はアイランドシティ全体の自転車・歩行者ネットワークをつなぐ動線計画としております。 いただいたご意見は，アイランドシティ全体の事業計画を検討する中で参考にさせていただきます。
88	エコパークゾーンを囲むようなサイクルロードを作り、さらには志賀島までのサイクリングロードが完成すると、「しまなみ海道」並みのPRができるのではないか。		
89	和白干潟へのアクセスを改善し，「野鳥公園と和白干潟のコラボレーション」となるよう計画してほしい。	原案どおり	『Ⅵ．4．（1）アイランドシティ事業計画との整合』に記載しておりますように，本公園はアイランドシティ全体のネットワークを踏まえた動線計画としております。 いただいたご意見は，アイランドシティ全体の事業計画を検討する中で参考にさせていただきます。
90	野鳥公園から香住ヶ丘（牧の鼻）側に歩道橋を作ることを提案。橋が出来れば，歩いて10分程度で往来ができ，来園者はより多様な海辺環境を楽しむことが出来るし，エコパークゾーンの魅力を間近に体感できることになる。		
91	外周に計画されている周回遊歩道は，海と陸の生物的空間の連続性を分裂することなる。湿地域と海との連続背は重要であり，野鳥の往来に対しての配慮が欠けているのではないか。外周に一律に遊歩道と緑地を配置するのではなく，遊歩道を内陸側へ誘導する等の工夫がいる。基本的に，生物空間を優先して，人間が配慮をしながら楽しむという考え方で整備してほしい。	原案どおり	『Ⅵ．4．（2）多様なルート』に記載しておりますように，野鳥の生育環境に配慮するため，野鳥の飛来時期に一部ルートを封鎖することも想定し，多様なルートを設けることとしております。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
92	海辺の道路は立入禁止にし，管理業者専用道路にした方がよい。		
93	「野鳥公園」なので，できる限り野鳥に配慮した空間にしてほしい。海辺ゾーンと湿地が分断されているのが気になる。現在博多湾に飛来しているシギ・チドリが野鳥公園でたくさん観察できるように，海から湿地へと連続性のあるエリアとなるのが望ましい。		
94	野鳥との共存部分と一般の回遊部分とのすみ分けがしっかりできればよりよい空間が整備されるのではないか。		
95	ふたつの野鳥の利用域（海と湿地）を野鳥がスムーズに安心して利用できるようにすることが最優先されるべきだ。親水ルートについては，特にシギ・チドリの利用期（春，秋の渡り鳥時期，及び越冬期）は，人の出入りの制限。緑陰ルートについては不要。この二つのルートは見直しが必要。		

96	公園内の動線計画にある親水ルートについて，野鳥の飛来時期に一部ルートを封鎖することも想定とあるが，野鳥が飛来する時期は年によって変化するし，一年中いる野鳥もいるので，中途半端な運用に感じる。	原案どおり	『Ⅵ．4．(2)多様なルート』に記載しておりますように，野鳥の生育環境に配慮するため，野鳥の飛来時期に一部ルートを封鎖することも想定し，多様なルートを設けることとしております。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
97	浅場と湿地の一体利用であれば，場合によっては親水ルートのみではなく，緑陰ルートの封鎖も考えた方がよい。		
98	森林浴のできる散歩道を整備してほしい。	記載あり	『Ⅵ．4．(2)．②緑陰ルート』に記載しておりますように，クロマツなどの樹林地の中を憩いや安らぎを感じながら散策できる空間の創出を図ってまいります。
Ⅵ．基本整備計画			
5．植栽計画			6件
99	植栽は，常緑，落葉の両樹とし春は桜，秋は紅葉，更に海鳥の好む種樹を混栽してほしい。	原案どおり	『Ⅵ．5．植栽計画』に記載しておりますように，本公園内をゾーニングし，利用特性に応じた植栽計画とするとともに，アイランドシティ及び周辺に自生している植生を参考に樹種の選定や配置を図ってまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
100	木陰がほしい。		
101	植栽樹木においては，出来るだけ郷土種に配慮してほしい。自然の成長に委ねる部分においても外来種，特定外来種等を駆除し，外来種の問題も利用者に訴えてほしい。	原案どおり	『Ⅵ．5．植栽計画』に記載しておりますように，本公園内をゾーニングし，利用特性に応じた植栽計画とするとともに，アイランドシティ及び周辺に自生している植生を参考に樹種の選定や配置を図ってまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
102	桜を植えてほしい。可能なら桜のアーケードが続く道を作っていただきたい。		
103	植栽計画について，整備当初から野鳥が休息できるように、周辺部の植栽は大きめの樹木を配置し、公園を訪れる人々が鳥から丸見えにならないようにしてほしい。		
104	植栽については、昆虫との出会いも楽しめるような樹木を植えていただきたい。		
Ⅵ．基本整備計画			
6.施設計画			24件
105	多くの市民，又多くの市外の人も利用できる施設として，駐車場を充実してほしい。	記載あり	『Ⅵ．6．(1)駐車場』に記載しておりますように，遠足などでの利用を踏まえ，バスの待機スペースを含めた必要台数を確保します。また，有料化について検討を図ってまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
106	駐車場があると利用しやすい。		
107	アイランドシティ中央公園では、休日ともなると大勢の親子連れでにぎわうが、駐車場が満車で待ち車両が発生している。中央公園以上の来園者を見込んで駐車場を確保してほしい。ただし，駐車場の有料化は避けてほしい。		
108	市内の小中学生環境学習の場となるため，大型バス駐車場が必要ではないか。		
109	将来の維持管理に必要な予算が絶対に不足すると思うので，段階的整備の最中から駐車場などを整備・活用し，未来への基金を募ってはどうか。		

110	遊具を設けることで利用を促進するよりも、よりよい自然環境、学習プログラムにより人が訪れるというのが本来の目標にあっている。遊具を目的とした人が多く訪れるというのは野鳥・生物の生息環境としても不適。維持管理の点からも問題が生じると思うので、遊具はないほうがよい。	原案どおり	『Ⅵ．6．(5)遊具』に記載しておりますように，環境学習や遠足などの利用を促進する観点からも，築山の勾配を利用した，自然を楽しめる遊具の設置を検討することとしております。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
111	自然に親しむ公園であるため，遊具など人工的なものは極力設置せず，利用者が考え，知恵を出しながら楽しめる空間として整備してほしい。		
112	築山に遊具を入れたりせずに，あくまで自然とふれあう場に徹するべき。		
113	ガイダンスセンターの整備や機能については，特に子供たちが毎年のように利用して，楽しく学習できるものにしてほしい。	記載あり	『Ⅵ．6．(8)ガイダンスセンター等』に記載しておりますように，ガイダンスセンターの施設規模や導入する機能等については，野鳥の飛来状況や自然の成長及び公園の利用状況等を見極めながら検討してまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
114	様々な掲示や複数カ国語でのパネル等をもちいながら，環境を重視した教育施設の場にしてもらいたい。		
115	野鳥観察のため，風雨を防ぎ長時間滞在できるような環境が必要。	記載あり	『Ⅵ．6．(8)ガイダンスセンター等』に記載しておりますように，エコパークゾーンを一望し，園内の様子が観察できる場の創出を図ってまいります。
116	渡り鳥の観察は，冬や春が中心になると思います。なので，室内から観察できるスペースがほしい。		
117	海浜に鳥を観察するための展望台を設けてほしい。	記載あり	『Ⅵ．6．(8)ガイダンスセンター等』に記載しておりますように，エコパークゾーンを一望し，園内の様子が観察できる場の創出を図ってまいります。
118	利便施設は目的を明確にし，低価格，低品質にならぬよう配慮願う。	原案どおり	『Ⅵ．6．(8)ガイダンスセンター等』に記載しておりますように，ガイダンスセンターの整備やカフェ等の利便施設の導入にあたっては，民間活用の導入を含め検討してまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
119	観光客等のためにも，“海魚”を中心とした食堂（レストラン）を併設してほしい。		
120	継続的にみんなが参加する公園とするため，多様な年代が訪ねるきっかけとして，カフェや本屋あるいは図書館など民間の力を借りながら，魅力的なコンテンツを作成すると良い。		
121	大濠公園のように，コーヒーショップや飲食店があると一日ゆったりと過ごすことができると思う。		
122	小さな子どもがいるので，授乳スペースがあると公園に行きやすいと思う。	修正	『Ⅵ．6．施設計画』につきましては，誰もが安心して利用できることが必要であると考えております。 わかりやすくするため，ユニバーサルデザインを考慮する記載内容を追記しました。
123	ガイダンスセンターに環境セラピーの考え方を追加し，障がいを持った子供達にも，自然教育が感じられるような野鳥公園とし，ガイダンスセンター内設備や野外のサインに障がい者対応の施設を追加してほしい。		
124	野鳥が集まりやすい環境にするとともに、行った人が憩える広場を煉瓦などの自然素材で作ると，長い時間利用できるのではないか。	修正	『Ⅵ．6．施設計画』につきましては，自然環境に配慮する必要であると考えております。 わかりやすくするため，上記の記載内容を追記しました。
125	柵や観察デッキ等に木材を使用すると4･5年で朽ち始め，維持管理費がかさむので絶対に使用しないほうがよい。		
126	管理棟，トイレなどの照明その他の電力には，自然を利用したソーラパネル発電，風力発電を用いるべき。		

127	野鳥は自然を好みます。人工的な公園は人間にはよく見えますが野鳥が好むとは限らない。まずは干潟や野鳥などを見ることのできるベンチを設置してほしい。	修正	『Ⅵ. 6. 施設計画』につきましては，自然との共生を考慮しながら，来園者が心地よく利用していただく必要があると考えております。 わかりやすくするため，上記の記載内容を追記しました。
128	アスレチックなど遊具を設置するのであれば，バンガローや炊飯コーナーを作り校外授業などに活用すべき。		
Ⅵ. 基本整備計画			
7.防犯への配慮			2件
129	防犯には，くれぐれも配慮するべきで，防犯カメラは多すぎるぐらい設置すべき。	原案どおり	『Ⅵ. 7. 防犯への配慮』に記載しておりますように，必要な照度を確保するとともに，防犯カメラ等の設置についても検討してまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
130	夜間等不審者及び滞在者がいつかないようにパトロールなど強化してほしい。		
Ⅶ. 管理運営			
1.みんなで関わる野鳥公園			6件
131	本公園への関わり方としては，住民本位であるべきであり，住民が受け手であってはならない。NPOや行政がサポートする立場であることが重要。	記載あり	『Ⅶ. 1.（1）多様な主体の連携およびⅦ. 1.（2）市民参加』に記載しておりますように，野鳥をはじめとする自然の保全は，市民やNPO，企業など多様な主体との連携が重要であります。そのため，子供も含め市民が積極的に関わることができる仕組みづくりの創出を図ってまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
132	アイランドシティの住民に対して，この公園に関心を持ってもらうようなPRをしていき，地域住民が関わる仕組みを作っていくことが大切。		
133	昨年度は愛宕小学校，今年度は早良小学校で野鳥公園整備について学習しました。成長する野鳥公園の実現に向けて子どもたちは楽しみにしている。		
134	市民参加で段階的な整備というのは自分たちでつくっていくという感じが出て良い。子供達の環境教育としてもとても良い。	記載あり	『Ⅶ. 1.（1）多様な主体の連携およびⅦ. 1.（2）市民参加』に記載しておりますように，野鳥をはじめとする自然の保全は，市民やNPO，企業など多様な主体との連携が重要であります。そのため，子供も含め市民が積極的に関わることができる仕組みづくりの創出を図ってまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
135	市民参加活動が野鳥や水辺の生物にとって邪魔にならないようにしてほしい。		
136	成長していく野鳥公園の姿と状況がHPやSNSなどで見れるようになるとよい。		
Ⅶ. 管理運営			
2.順応的管理手法の導入			10件
137	自然環境を人工的な一定枠にとどめ続けるには膨大なコストがかかり，また，管理運営ではサポーターがいなくても「できること」や「やらなければならないこと」があると思う。様々なリスクを想定し，予測したビジョンが必要ではないか。	原案どおり	『Ⅶ. 2. 順応的管理手法の導入』に記載しておりますように，野鳥公園の一部エリアでは整備しながら自然の状況変化に柔軟に対応できるよう，順応的管理を導入します。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
138	12haの公園だと，野鳥にとっては決して広いとはいえない空間に多くの施設を整備すると無理が生じ，野鳥が集まりにくくなっても困る。周辺の施設と機能を分担して，鳥の立場から施設を少しずつ加えながら，急がずに整備してほしいと思う。		

139	自然の整備・管理は、計画通りにはいかないことが多いと思いますので、柔軟に対応できるこの順応的管理手法の考え方は実情に沿った素晴らしいものだと思います。'	原案どおり	『Ⅶ．2．順応的管理手法の導入』に記載しておりますように，野鳥の飛来や自然の成長等について，目標を設定し定期的にモニタリングすることにより状況を把握するとともに，管理方法の見直しや必要に応じて施設の改良を行ってまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
140	モニタリング用に湿地や海を24時間監視できるビデオカメラを設置してほしい。シギ・チドリの飛来時期だけでも設置すれば、データが得られ観察会等にも利用できると思います。		
141	野放しの自然ではなく，人と共生した自然環境を整備してほしい。管理体制や管理方法は重要である。		
142	自然環境に関して，具体的にどのような項目を目標値として，整備効果の検証、管理方法の見直しをするのか。また，モニタリングの過程、検証、助言の過程は公開されるのか。	原案どおり	『Ⅶ．2．順応的管理手法の導入』に記載しておりますように，目標の設定や管理方法，モニタリングによる整備効果の検証については，有識者による助言をはじめ，市民やNPO等のご意見を伺いながら進めてまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
143	順応的管理は高く評価する。しかし，評価のための明確な指標や保全の目標値がなければならない。早急に生物的目標や，人の利用目標を設定し，市民も参加できる評価システムが求められる。整備前に有識者等の連携による組織作りが必要で，目標や体制を明確にし公開されることが重要。管理・運営手段が本公園づくりの最重要課題。		
144	ｾｱｶｺﾞｹｸﾞﾓやｵｵｷﾝｹｲｷﾞｸ、ｾｲﾀｶｱﾜﾀﾞﾁｿｳなど外来生物が公園内に侵入しないよう、また，鳥ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞに対する対応など維持管理の厳格化なども徹底してほしい。		
145	公園は建設するときよりも維持管理をどのように実施するかが重要だ。公園整備にあたり、これまでの方向性を維持しつつ，管理運営を確実に行う仕組み作りをしっかり行ってもらいたい。	修正	『Ⅶ．1．みんなで関わる野鳥公園」の項目において，持続可能な管理運営の仕組みづくりは必要であると考えております。 わかりやすくするため，上記の記載内容を追記しました。
146	管理運営に持続可能な仕組みづくりの視点がいる。		
Ⅶ．管理運営			
3.身近な環境学習の拠点づくり			10件
147	単に野鳥等の生育環境を整備するだけでなく、それらと身近に触れ合える環境づくりが重要。そのためには，整備や運営に住民が参加できる具体的なプログラムを、初期段階から検討・実践していくことが必要。例えば環境学習プログラムや順応的管理とその改良のプロセスへの参加を、市内各小学校の総合的学習の必須授業の一つにすると良い。	記載あり	『Ⅶ．3．（1）企画運営』に記載しておりますように，より多くの市民に利用され，市民の環境への関心を高めるため，専門性や実効性を持った市民やNPO等と連携した企画運営を検討してまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
148	自然の魅力や不思議さを伝えるのは意外と難しいと思う。その難しい部分を面白く解説できるガイドを育成し，園内ツアー等企画することで公園の魅力が倍増すると思う。	記載あり	『Ⅶ．3．（1）企画運営』に記載しておりますように，より多くの市民に利用され，市民の環境への関心を高めるため，専門性や実効性を持った市民やNPO等と連携した企画運営を検討してまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
149	野鳥が主ではあるが，生体多様性の観点から見ると，野鳥の餌となる小動物の存在や野鳥が移動することで運ばれてくる小動物と植物等とのつながりも重要。野鳥を中心に様々な生物とのつながり等，生物多様性を学べるよう取り組んでほしい。		
150	民間活力の導入については自然の保護と学習を第一にし，慎重な検討を行ってほしい。		
151	定期的に専門家による観鳥会を開催し，望遠鏡や双眼鏡がレンタルできるようにしてほしい。		
152	定期的に自然を楽しむ散策などやイベントなどを開催し、市民の交流の場としてほしい。	記載あり	『Ⅶ．3．（1）企画運営』に記載しておりますように，市民に身近に活用されるため，環境学習プログラムやイベント等の充実を図ってまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
153	シギ・チドリ類をはじめ多くの渡り鳥が飛来する環境保全をすすめるにあたって，渡りのルート上の国々との国際環境交流は相互理解と協力が重要である。それらを活用しながら，子どもたちの未来のためにも，国際交流の分野を充実させてほしい。		
154	高年齢で体力がないため，体験型学習の取組みを見学して遠くからアドバイスをしたい。		

155	エコパークゾーン全体での機能分担（採餌場，休息場）を考えるならば，和白干潟域も含めて，管理できる仕組みが必要。	記載あり	『Ⅶ．3．（2）エコパークゾーンや周辺緑地との連携』に記載しておりますように，和白干潟の保全や和白海域の水質・底質改善など，エコパーク全体の活動と一体となった取組みを検討してまいります。
156	野鳥公園だけでなく既存のアイランドシティ中央公園と一体的に，ソフトとハードの両面を整備を進めることができれば、相乗効果が生まれエリア全体の魅力向上につながる。	記載あり	『Ⅶ．3．（2）エコパークゾーンや周辺緑地との連携』に記載しておりますように，アイランドシティ中央公園やグリーンベルト，外周緑地など，周辺緑地と連携した取組みを検討してまいります。
Ⅷ．事業スケジュール			1件
157	段階的な整備の必要性には理解しますが，人が訪れない公園は寂しい限り。広場やセンター，利便施設を早い段階で整備してほしい。	記載あり	『Ⅷ．2．整備の進め方』に記載しておりますように，「自然に親しむ空間」については道路などの周辺基盤整備等に合わせて，順次整備・供用を図ってまいります。 いただいたご意見は，具体の検討を行う中で参考にさせていただきます。
〔参考〕「野鳥公園整備に関する検討委員会について」			1件
158	委員名簿の欄外，※委員長に平成26年4月から森橋真氏が就任したように見え，分かりづらい。	修正	わかりやすくするため，記載内容を修正しました。
その他			13件
159	本素案は見事なプランで楽しみ。		
160	特にありません。完成が楽しみです。		
161	すぐそばに自然で素晴らしい和白干潟がありますので、人工の野鳥公園は要りません。		
162	和白干潟や和白海域の自然を破壊して，人と自然の共生はあり得ない。本公園予定地はそのままにし，自然の復活を待つ方が良い。護岸を壊して自然の海岸線にするのが良い。公園整備の予算は水質を良くしたりアオサの回収等，和白干潟の保全に使ってほしい。		
163	ラウンジカフェでは，素案の1P～7Pまでの基本的な情報や，現状の説明はなく，市民からの要請に対しても事務局は答えることはなかった。そのため，具体的な議論を深めることができなかったことが残念であり，市民提案は中途半端に終わってしまったと言わざるを得ない。		
164	野鳥公園外で親水性を向上させる人工海浜がほしい。		
165	適当な泊地を設け，天神からの遊覧船を延伸してほしい。		
166	アイランドシティ内に，適当な泊地を設け，天神により博多港内の遊覧船を延長してほしい。		
167	香住ヶ丘地区の「タイトプール」では，岩場にカキなどが大量に付着して危険である。何か対策はないか。		
168	近年，アオサがたくさん繁殖しているため，肥料にする取り組みを強化してほしい。		
169	多くの市民，又多くの市外の人も利用できる施設として，アクセスの良い公共交通の整備をしてほしい		
170	周辺のアクセス・公共交通機関の整備なども併せて検討してほしい。		
171	交通のアクセスが不足しているため，地下鉄道又はモノレールを導入してはどうか。		